

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコースⅡ

科目名	メーキング基礎実習Ⅰ		授業のねらい
担当教員	田中		ジュエリー制作に必要な基本的な工具・素材の扱い方を含めた彫金技術をアイテム毎に習得していく。
対象学年	1年		
単位区分	必修		
授業時数	256時間	単位数 8単位	
開講期間	2022.4.13～2022.10.12		到達目標 新たな加工法と知識を学び、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
授業形態	実習		
備考	実務経験有＝田中(ジュエリーブランドオーナー)		
授業の計画展開	メーキング基礎実習Ⅰ-1(ジュエリートライアル)		
	内容	工具の基本的使用方法の学習とともにペンダント制作	
	メーキング基礎実習Ⅰ-2(ベーシックリング)		
	内容	平打ち、甲丸リングの制作を通し、リングの基本的な制作プロセスを学ぶ	
	メーキング基礎実習Ⅰ-3(WAX 月甲丸リング)		
	内容	WAX素材を使用したリングの基本的な制作プロセスを学ぶ	
	メーキング基礎実習Ⅰ-4(ソリテールリング)		
	内容	オーバルカボションの石を使用した覆輪(フクリン)石座のソリテールリングを制作	
履修上の注意事項	メーキング基礎実習Ⅰ-5(ソリテールペンダント)		
	内容	ラウンドCZを使用し4本爪留め石座のペンダントトップを制作	
	メーキング基礎実習Ⅰ-6(WAX模刻)		
	内容	モチーフの形を観察し、実寸通りの形に削りだすことで造形感覚を学ぶ	
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。		
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト		
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト		

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコースⅡ

科目名	メイキング造形実習Ⅰ			授業のねらい ジュエリー制作に必要な基本的な工具・素材の扱い方を含めた彫金技術をアイテム毎に習得していく。また、各自でデザインをし、オリジナルジュエリー制作の技法を習得していく。
担当教員	田中			
対象学年	1年			
単位区分	必修			
授業時数	204時間	単位数	6単位	到達目標 新たな加工法と知識を学び、各自の制作テーマを考え制作計画を立て、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
開講期間	2022.10.16～2023.2.18			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝田中(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	メイキング造形実習Ⅰ-1(WAXモチーフリング)			
	内容 粘土等で模型、WAXにてリング原型を制作することで立体造形を学ぶ			
	メイキング造形実習Ⅰ-2(ロケットペンダント)			
	内容 ヒンジ金具の構造やパイプ、箱形状といった基礎的形態を用いたロケットペンダントの制作			
授業の計画展開	メイキング造形実習Ⅰ-3(オーバーレイブローチ)			
	内容 透かした銀板をカシメ技法にて重ね合わせたオーバーレイ技法と、既製のブローチ金具を用いた制作			
履修上の注意事項	指定の金属加工法を習得した上で、各自のテーマに基づいた作品制作を行うことが重要である			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコースⅡ

科目名	デザイン基礎実習Ⅰ		授業のねらい
担当教員	小島		ジュエリーデザインに必要な基本的なレンダリング、製図読解を習得していく。
対象学年	1年		
単位区分	必修		
授業時数	160時間	単位数 5単位	
開講期間	2022.4.1～2023.3		到達目標 ジュエリーデザインに必要な基本的な知識、方法を学び、確実に仕上げることを目標とする。
授業形態	実習		
備考	実務経験有＝小島(企業内デザイナー)		
授業の計画展開	デザイン基礎実習Ⅰ-1(製図の基礎) 内容 dr1スケッチ/dr2立方体/dr3円柱 dr4立体図から図面/dr5図面読解		
	デザイン基礎実習Ⅰ-2(製図の基礎) 内容 dr6質感表現1/dr7平打ちリング作図 dr8甲丸リング作図		
	デザイン基礎実習Ⅰ-3(製図の基礎) 内容 dr09リング製図 dr10リングの構造/dr11石付きリングの構造の理解		
	デザイン基礎実習Ⅰ-4(製図の基礎) 内容 dr10リングの構造/dr11石付きリングの構造の理解		
	デザイン基礎実習Ⅰ-5(リング立体表現) 内容 dr1個石リングの表現/drメレーの立体表現/取り巻きリング		
履修上の注意事項	基礎的な描画技法の習得と適切な道具の使用が出来ていることが重要である		
評価方法	課題提出の内容、日頃の姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。		
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト		
参考文献	「ジュエリーバイブル」		

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコースⅡ

科目名	メーキング基礎実習Ⅱ			授業のねらい 1年次で学んだ宝飾技法に基づき、ジュエリー業界における商品量産の知識、加工方法の習得していく。
担当教員	田中			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	256時間	単位数	8単位	到達目標 新たな加工法と知識の習得に基づき、着実に作品を仕上げることを目標とする。
開講期間	2022.4.4.13～2022.11.13			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝田中(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	メーキング基礎実習Ⅱ-1(キャスト仕上げ)			
	内容	量産リング仕上げ、サイズ直し、磨き、石留め		
	メーキング基礎実習Ⅱ-2(石枠 3種)			
	内容	石座製作(ペアシェイプ、マーキース、エメラルド)		
	メーキング基礎実習Ⅱ-3(腕 3種)			
	内容	腕製作(V字、ツイスト、抱き合わせ)		
	メーキング基礎実習Ⅱ-4(すり出し石座ペンダント)			
内容	すり出し石座ペンダント制作			
メーキング基礎実習Ⅱ-5(WAXリング&ペンダント)				
内容	図面の正確な読み取りによるWAXリング、ペンダント制作			
履修上の注意事項	指定された種類、サイズの石を規定の留め方で石留め出来る事が重要である。			
評価方法	1.課題作品:技術力 2.制作意欲:日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコースⅡ

科目名	メーキング造形実習Ⅱ		授業のねらい
担当教員	田中		1年次で学んだ基礎技法に基づき、ジュエリーの各アイテムにおける金具の扱い方、装着感、重量バランスを習得していく。指定のテーマに基づき各自が作品コンセプトを設定し、宝飾技法を応用した作品制作を習得していく。
対象学年	2年		
必修選択の別	必修		
授業時数	204時間	単位数	
開講期間	2022.11.13～2023.2.18		到達目標
授業形態	実習		新たな加工法と知識を学び、各自がテーマを探り制作計画を立て、着実に作品を完成させることを目標とする。
備考	実務経験有＝田中(ジュエリーブランドオーナー)		
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅱ-1(擦り出し石座リング)		
	内容	擦り出し石座を利用したデザインリング	
	メーキング造形実習Ⅱ-2(割り爪石留めピアス)		
	内容	割り爪(ティファニーセッティング)の石座製作	
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅱ-3(K18カクテルストーンペンダント)		
	内容	K18加工、石留及びデザイン展開をしたペンダント制作	
履修上の注意事項	指定の金属加工法を習得した上で、各自のテーマに基づいた作品制作を行うことが重要である。		
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。		
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト		
参考文献	「ジュエリーバイブル」		

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコースⅡ

科目名	デザイン基礎実習Ⅱ		授業のねらい
担当教員	小島		1年次に学んだ基礎技法に基づき、新たな描写技術を習得し、自身のジュエリーデザインに応用していく方法を習得していく。
対象学年	2年		
必修選択の別	必修		
授業時数	96時間	単位数	
開講期間	2022.4.1～2023.3		到達目標 モチーフの捉え方、表現方法を学び、指定条件から導き出したコンセプトに基づき、宝飾技法を踏まえた実現性のあるジュエリーデザインを完成させることを目標とする。
授業形態	実習		
備考	実務経験有＝小島(企業内デザイナー)		
授業の計画展開	デザイン基礎実習Ⅱ-1(スケッチトレーニング) 内容 模写 グラフィックソフト演習 ペンダントデザイン		
	デザイン基礎実習Ⅱ-2(リフォームジュエリー) 内容 オーダーメイドジュリー、ロールプレイング グラフィックソフト演習		
	デザイン基礎実習Ⅱ-3(ドローイングトレーニング) 内容 ドリル:ペンダントデザイン/ピアスデザイン ジュエリーアレンジ模写		
履修上の注意事項	市場動向や指定のテーマに対する多くの展開から最適な提案とデザインを選択し、完成出来ることが重要である。		
評価方法	1.課題作品:描写力・展開力 2.制作意欲:制作意欲:探究心・受講態度、出席状況による総合評価		
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト		
参考文献	「ジュエリーバイブル」		

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコースⅡ

科目名	デザイン造形実習Ⅱ		授業のねらい
担当教員	小島		1年次に学んだ基礎技法に基づき、新たな描写技術を習得し、自身のジュエリーデザインに応用していく。 また、市場動向や指定テーマに基づき、表現を模索し、展開を重ねジュエリーデザインまで繋げる技術を習得していく。
対象学年	2年		
必修選択の別	必修		
授業時数	64時間	単位数	
開講期間	2022.4.1～2023.3		到達目標 モチーフの捉え方、表現方法を学び、指定条件から導き出したコンセプトに基づき、宝飾技法を踏まえた実現性のあるジュエリーデザインを完成させることを目標とする。
授業形態	実習		
備考	実務経験有＝小島(企業内デザイナー)		
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅱ-1(エンゲージリング) 内容 エンゲージリング カクテルストーンペンダント		
	デザイン造形実習Ⅱ-2(コンテストジュエリー) 内容 コンテストジュエリー グラフィックジュエリー		
履修上の注意事項	市場動向や指定のテーマに対する多くの展開から最適な提案とデザインを選択し、完成出来ることが重要である。		
評価方法	1.課題作品:描写力・展開力 2.制作意欲:制作意欲:探究心・受講態度、出席状況による総合評価		
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト		
参考文献	「ジュエリーバイブル」		

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコースⅡ

科目名	メーキング基礎実習Ⅲ		授業のねらい 2年次で学んだ宝飾技法に基づき、ジュエリー業界における商品素材に多く使われるプラチナを使用した実践的な加工法や留め金具加工を習得していく。	
担当教員	田中			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	124時間	単位数	4単位	到達目標 新たな加工法と知識の習得、商品としての完成度で仕上げることを目標とする。
開講期間	2022.4.13～2022.7.6			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝田中(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	メーキング基礎実習Ⅲ-1(プラチナペンダント)			
	内容	プラチナ素材を使用したペンダント製作		
	メーキング基礎実習Ⅲ-2(Tバー、フック、クラスプ)			
	内容	留め金具の構造理解、製作		
履修上の注意事項	指定された種類、サイズの石を規定の留め方で石留め出来る事が重要である。			
評価方法	1.課題作品:技術力 2.制作意欲:日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコースⅡ

科目名	メーキング造形実習Ⅲ			授業のねらい 2年次で学んだ基礎技法に基づき、ジュエリーの各アイテムにおける実際の商品としての装着感、重量バランスを習得していく。指定のテーマに基づき各自が作品、商品コンセプトを設定し、宝飾技法を応用した作品制作を習得していく。
担当教員	田中			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	336時間	単位数	10単位	到達目標
開講期間	2022.7.9～2023.2.18			
授業形態	実習			新たな加工法と知識を学び、各自がテーマを探り制作計画を立て、着実に作品を完成させることを目標とする。
備考	実務経験有＝田中(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅲ-1(プレスレット)			
	内容	WAX原型制作、ゴム型、キャスト、仕上げ、及び展開プレスレット制作		
	メーキング造形実習Ⅲ-2(WAX DESIGN RING)			
	内容	WAX素材を利用したオリジナルリングの制作		
	メーキング造形実習Ⅲ-3(マリッジリング)			
内容	結婚指環マーケットの新提案から男女ペアのリングを制作			
メーキング造形実習Ⅲ-4(セットジュエリー)				
内容	商品傾向をリサーチし、新しいデザイン提案をする。3点セットでアイテムを制作する。			
履修上の注意事項	指定の金属加工法を習得した上で、各自のテーマに基づいた作品制作を行うことが重要である。			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコースⅡ

科目名	デザイン基礎実習Ⅲ		授業のねらい
担当教員	小島		2年次に学んだ基礎技法に基づき、新たな描写技術を習得し、自身のジュエリーデザインに応用していく方法を習得していく。
対象学年	3年		
必修選択の別	必修		
授業時数	32時間	単位数	
開講期間	2022.4.1～2023.3		到達目標
授業形態	実習		モチーフの捉え方、表現方法を学び、指定条件から宝飾技法を踏まえた実現性のあるジュエリーデザインを完成させることを目標とする。
備考	実務経験有＝小島(企業内デザイナー)		
授業の計画展開	デザイン基礎実習Ⅲ-1(デザイン検定対策)		
	内容 モチーフによるデザイン展開 石留めの種類と構造 学内デザイン検定の対策演習		
履修上の注意事項	市場動向や指定のテーマに対する多くの展開から最適な提案とデザインを選択し、完成出来ることが重要である。		
評価方法	1.課題作品:描写力・展開力 2.制作意欲:制作意欲:探究心・受講態度、出席状況による総合評価		
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト		
参考文献	「ジュエリーバイブル」		

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコースⅡ

科目名	デザイン造形実習Ⅲ		授業のねらい
担当教員	小島		2年次に学んだ基礎技法に基づき、新たな描写技術を習得し、自身のジュエリーデザインに応用していく。 また、市場動向や指定テーマに基づき、表現を模索し、展開を重ねジュエリーデザインまで繋げる技術を習得していく。
対象学年	3年		
必修選択の別	必修		
授業時数	128時間	単位数	
開講期間	2022.4.1～2023.3		到達目標 モチーフの捉え方、表現方法を学び、指定条件から導き出したコンセプトに基づき、宝飾技法を踏まえた実現性のあるジュエリーデザインを完成することを目標とする。
授業形態	実習		
備考	実務経験有＝小島(企業内デザイナー)		
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅲ-1(リフォームジュエリー) 内容 リフォームデザイン Illustrator演習		
	デザイン造形実習Ⅲ-2(マリッジリング) 内容 マリッジリングデザイン 腕の断面形状 ブランド商品知識		
	デザイン造形実習Ⅲ-3(オーダーメイドジュエリー) 内容 パールのペンダントトップ ターゲットイメージジュエリー		
	デザイン造形実習Ⅲ-4(コンテストジュエリー) 内容 コンテストジュエリー グラフィックジュエリー		
履修上の注意事項	市場動向や指定のテーマに対する多くの展開から最適な提案とデザインを選択し、完成出来ることが重要である。		
評価方法	1.課題作品:描写力・展開力 2.制作意欲:制作意欲:探究心・受講態度、出席状況による総合評価		
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト		
参考文献	「ジュエリーバイブル」		